

桐生西ロータリークラブ週報



2020-21年度RIテーマ

ホルガー・クナー RI会長

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 坪井良行 公共イザ委員長 新井みゆき クラブ会報・雑誌担当 木村明彦
 幹事 栗原秀一 委員: 江原利夫、天沼一夫 (歴任編集・IT・OCIO担当)、井本万里子

No. 2211

2021年3月12日発行

特 別 号

会長挨拶 (坪井通信vol.13より)

皆様いかがお過ごしでしょうか？
 桐生西ロータリークラブも久しく例会の動きが止まってしまいました。皆様のお顔が懐かしく感じられる様になりました。例会の無い生活はいかがでしょう？

私の方は、幹事・担当者と共に、本来例会で皆様の前でお渡しする品々を施設等に配ったり、または次年度地区の会議に参加したり、桐生西RCの理事会を開いたり、ロータリーとの係わりがそれなりにありました。皆様が、コロナ禍の中で知恵を出して、工夫をして活動を続けているとは思いますが、ロータリークラブの例会がない生活が寂しいと感じているのは私だけでしょうか？

先日、地区の「奉仕の理念実践セミナー YouTube」をパソコンで視聴しました。その中で地区研修リーダー 本田博己パストガバナーの講和、「奉仕の理念」を実践しよう」を拝聴いたしました。「奉仕の理念」(The Ideal of Service) = 「相互扶助の精神」(Spirit of Mutual Helpfulness) + 「奉仕」(Service) とのお話でした。

(詳しくは YouTube をご覧ください。)

私がこの講話で特に心に響いたのは、ロータリークラブの創始者「ポール・ハリス」が日本に来られた時のお話です。「貴方はなぜロータリークラブを作ったので

すか？」との質問に、ポール・ハリスの答えは、「寂しいからです」と答えたエピソードです。ポール・ハリスの「寂しい」とはどのような思いでしょうか？人間は、一人で生まれ、一人で死んでゆく、そして一人では生きて生けない、そんな実存的問題でしょうか？

私は思いました。ポール・ハリスほどの人ならば、人生を通じて多くの友人がいる事だろう。仕事仲間も沢山いるだろう。だけど「寂しい」と感じたのはなぜか？

私なりの結論は、ロータリークラブのメンバーは事業の責任者です。責任者として判断をしなければならない立場です。責任者であるならば孤独を感じて当たり前事だと。同業者同士ではライバルです。ライバル同士では見せられない心があると思いました。様々な仕事の責任者が善意で専門性を出し合い、尚且つ同じ寂しさを補える関係を求めてロータリークラブを作ったのだと考えました。だから初期ロータリークラブでは、メンバーは一業種一人で構成する決まりなのだと理解しました。そうなりますと、「寂しい」心を埋める為には例会も必要ですが、それから発展して奉仕活動も生まれてくるのではないかと考えます。皆様はいかがお考えでしょうか？皆様は「寂しさ」を感じていますか？

大間々高校創立120周年を祝して

群馬県立大間々高等学校は、明治33年4月に開校して、2020年で創立120周年迎えました。コロナウイルスの影響で式典は中止になってしまったようですが、昨年末に記念品と記念誌を頂戴しました。

2月24日(水)午前11時、当クラブから記念の品をお贈る為お祝金を、坪井会長、栗原幹事、河内IA担当の3名で高橋みゆき校長先生と齊藤宏之教頭先生にお渡しして参りました。



2021-22年度 RIテーマ発表される



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために SERVE TO CHANGE LIVES

カルカッタ・マハナガルRC(インド・西ベンガル州)会員の次期RI会長のシェカール・メータ氏は、国際協議会中の2月1日、2021-22年度会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。



今年度の国際協議会は、オランダ(米国フロリダ州)で開催予定でしたが、新型コロナウイルスのためバーチャルでの開催となりました。

メータ氏は、次期ガバナーに対し次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

◆会長報告

坪井会長

1. 桐生プリオパレス内の創立40周年記念碑が一部破損していましたが、早川副会長が無料で修復して下さいました。
2. 2023-24年度ガバナー候補者に保坂充勇氏(沼田RC)が指名されました。
(2022-23年度ガバナーは太田RC中野正美君)
3. 1月24日(日)13:30~16:00、ニューサンピア高崎での新会員セミナー(Zoom開催)に須田守会員が出席しました。
4. 1月29日(金)の午前中、施設優良職員表彰の賞状と記念品を、坪井会長、小林(聡)副幹事、浦野職業奉仕担当の3名で各施設へお届けに伺いました。
5. 2月のロータリーレートは1ドル104円です。
6. 2月1日からの国際協議会はオンライン開催され、シェカール・メータRI会長(インド)より次年度RIテーマ発表が発表されました。
『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』
『SERVE TO CHANGE LIVES』
7. 2月5日(金)の山形会員お父様の御葬儀へ慶弔規定通りに生花とお香典をお贈りしました。改めてお悔やみを申し上げます。
8. 第41回米山功労クラブ感謝状を頂戴しました。
9. 足立ガバナー年度地区役員・委員の就任依頼状が届きました。
第2分区Aガバナー補佐・審議会立法案検討委員、
会員組織強化委員に坪井良行君、
女性ネットワーク委員長に浦野幸子君、
地区補助金委員に山形剛君、
グローバル補助金委員に青山豊君、
インターアクト委員に河内良範君
10. 2月23日(日祝)14:00~16:00、YouTube上で奉仕の理念実践セミナーが開催されました。事例冊子は後日配布します。
11. 2月24日(水)大間々高校創立120周年のお祝いを、坪井会長、栗原幹事、河内 I A 担当の3名でお届けして参りました。
12. 樹徳高校卒業式(3月1日)へお花代を贈りました。
(コロナにより参列不可の為、学校サイドの趣旨により)
13. 3月4日の例会は桐生プリオパレスにて開催可能となり、月2回の例会開催とし、昼食は持ち帰り弁当と致します。
プログラム予定表はメール・ファックスにてお送りします。次の例会は3月12日(金)となります。
また早朝健康診断は、コロナ感染状況やワクチン接種状況等を考慮して年度内実施の有無を再検討する事に致しました。
14. 奉仕の理念実践セミナーを視聴された方は、自主申告で出席扱いになりますので、お申出下さい。

理事会報告 2月19日

1. 新規米山奨学生の受入クラブが見つからない場合はもう一名の受入を考慮する。
2. 笠懸50号沿いの交通モニュメント屋外広告物表示届出更新は従来通りエルムデザイン様へ依頼する。
3. 地区大会決議案は全会員へお知らせし意見や異議がなければ承認する事とする。
4. web開催の地区大会出席扱いについて承認する。
5. 姉妹クラブ釜山新西面RC創立30周年お祝いは会長に一任する。
6. ロータリー手帳はクラブで購入し希望者に配布する。
7. 3月4日は月2回の例会開催とし、昼食は持ち帰り弁当で例会時間は45分間を目安とする。春の家族会は中止とする。但しコロナ感染状況等により変更もあり得る。
8. 休会規定は標準ロータリークラブ細則通りとする。
9. 予算執行状況を確認する。

各委員長による前期の活動報告と後期の活動計画



会員組織委員長

山同輝和

本年度の会員組織委員長の山同です。
まづもって、年度初めに須田守会員に入会して頂いた以外には、新会員をお迎えできていないことをお詫び申し上げます。
また、コロナ禍を理由に活動計画も全くできていないのが実情です。大変申し訳ありません。坪井会長、栗原幹事をはじめ会員の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。
今後の活動としましては、年度初めに挙げた活動方針に基づき活動計画を実施します。そして、会員の皆様のご協力のもと、退会者を出ないように精一杯努め、年度末には会員純増1名を必達できるよう努力してまいります。
重ねて、会員皆様のご協力をお願いいたします。



クラブ運営委員長

下井田 秀一

当委員会の今年度の活動方針は、『こんな時こそ互いの友情と親睦』です。

新型コロナウイルス感染予防の為、様々な活動を自粛せざるを得ない状況が続いておりますが、ロータリアンとしての友情と互いの理解があれば、この厳しい事態を乗り越えられると信じます。クラブの歴史と伝統を守り発展させるべく、クラブ運営委員会の使命に尽力して参りますので、会員皆様のご協力をお願い致します。

先ず、前期の活動報告を各担当毎に発表します。

【出席】

1. 全会員に出席免除を適用し、例会出席を促すことは控えた。それにも関わらず上期平均約85%の出席率となり、会員の例会に出席したいという思いが伺えた。
2. 全会員に出席免除を適用した為、出席100%表彰は行おうが、記念品は贈らないこととした。

【プログラム】

1. 年間プログラムの作成
2. 2ヶ月毎のプログラム予定表の作成

【親睦】

1. 例会受付においてネームプレートの配布
2. 誕生・結婚祝いを準備、実施した。
3. 納涼家族会・秋の家族会行事はコロナ感染予防の為、中止にした。
4. 恒例の忘年家族会は、会員のための忘年例会として企画、運営した。
5. 毎例会時、時間短縮を図るよう努めた。

【健康管理】

1. コロナ禍でのロータリー活動や健康管理について、必要に応じてアドバイスを行った。

次に、後期の活動計画を各担当毎に発表します。

【出席】

1. 後期も全会員に出席免除を適用し、例会出席を強く促すことは控える。
2. 前期同様に出席100%表彰は行うが、記念品は贈らないこととする。

【プログラム】

1. 感染状況や行政からの要請の推移を見ながら2か月ごとにプログラム計画を立てる。

【親睦】

1. 例会受付、誕生・結婚祝いの継続
2. 春の家族会はコロナの影響により中止とする。

【健康管理】

1. コロナ感染状況やワクチン接種状況等を考慮して早期健康診断の実施の可否や時期を検討する。



奉仕プロジェクト委員長

野村 滋

コロナウイルスの影響で、今年度の奉仕プロジェクト委員会の活動が中止になったり、また開催方法の変更などが多々ありました。

まずは、前期の活動報告を時系列で、後期の活動計画を担当別に発表致します。

前期活動報告（時系列）

1. 7月1～31日の社会を明るくする運動では、桐生市・みどり市とも、今年度は市民大会(集会)が中止になりました。(桐生市には例年通り協賛金1万円を拠出)

＜社会奉仕＞

2. 毎年7月に地区インターアクト年次大会が開催されていましたが、今年度はコロナにより中止になりました。

＜インターアクト＞

3. 7月17日(金)の例会で、ローターアクト創立30周年記念誌を配布しました。これは、前年度が創立30周年の年度であり前年度の事業ですが、コロナにより配布時期がずれ込んだ為です。

また、同日、午後6時30分から、うおせんにて、桐生西ローターアクトクラブ初例会が開催されました。クラブから坪井会長、栗原幹事、RA担当の小林恵司君、同委員の乾和久君、米山カウンセラーの中里和子君、そして委員長の私と事務局が出席しました。アクトは11名が出席し、内3名の新会員入会式も行いました。

＜ローターアクト＞

4. 7月22日(水)午後4時に、大間々高校へ表敬訪問を行いました。坪井会長、栗原幹事、IA担当の河内良範君、委員長の私の4名で伺いました。

昨年4月から校長先生(高橋みゆき先生)、教頭先生(齊藤宏之先生)、が共に新しい先生となりました。顧問には今井徳子先生、副顧問に網中夏子先生、アクトは女子のみ13名との事です。

＜インターアクト＞

5. 毎年7月初旬に行われた大間々高校3年生対象の進路支援講話は、コロナにより中止となりました。模擬面接は、例年通り依頼され、8月20日(木)は集団面接を、21日(金)は個人面接を、午前中に大間々高校で行いました。

面接官は、初日に、栗原幹事、青山豊会員、浦野幸子会員と私が、2日は横塚直人会員、東郷学会員、新井みゆき会員、木村明宣会員の8名が務めました。尚、ロータリーの友11月号のロータリー・アット・

ワークの中で「準備は万全に、コロナ禍での模擬面接」というタイトルで、横塚会員が面接を行っている記事が写真と共に掲載されました。

＜インターアクト＞

6. 社会奉仕担当事業、桐生運動早朝公園の早朝清掃を8月21日(金)に行いました。桐生西ローターアクトも6名が参加しました。

＜社会奉仕・ローターアクト＞

7. 毎年招待をされていた高津戸荘の納涼祭、敬老の日行事がコロナにより中止になりました。チハヤチャリティゴルフ大会もコロナにより中止でした。

＜社会奉仕＞

8. 地区補助金事業「つつじヶ丘支援事業」の贈呈式を、9月4日の例会で行いました。コロナにより、代表者の方に例会に出席して頂いて目録を贈呈しました。

＜奉仕プロジェクト＞

9. 9月19・20日の桐生市発明考案展は例年通り開催され、桐生西RC会長賞の提供(15,000円)を行いました。但し表彰式はコロナにより中止になりました。

＜社会奉仕＞

10. 姉妹クラブのフィリピン・マンダロンRCのバーチャルによるインダクション・セレモニーに招待された為、9月4日の例会でビデオレターを撮影して、お祝いメッセージを先方へ贈りました。10月15日にFacebookライブで公開され、ズームによる懇親会に坪井会長が参加しました。

＜国際奉仕＞

11. 10月24～25日予定されていたライラ研修が中止になりました。群大主催の外国人留学生との懇談会も中止になりました。

＜ローターアクト・国際奉仕＞

12. 11月16日、桐生運動公園の月桂樹四世の手入れを造園業者に依頼し行いました。上の方がカイガラムシで真っ黒になっていました。早めに行って良かったです。

＜社会奉仕＞

13. 12月18日の当クラブの忘年例会に、桐生西RACの会長幹事を招待しました。都合により会長のみの参加となりました。

＜ローターアクト＞

14. 12月25日、高津戸荘クリスマス会にケーキをお届けしました。施設長様が呉々も会長様はじめ皆様に宜しくお伝え下さいとの事でした。

＜社会奉仕＞

後期活動計画（担当別）

＜社会奉仕＞

1. 毎年、高津戸荘観桜会を共催しておりますが、現在のコロナの状況では中止を見込んでおります。
2. 東花桃1万本プロジェクトは、状況をお聞きした上で支援を行う予定です。
3. マイトリー学園大間々南幼稚園への図書資金贈呈は、4～5月頃に支援金をお届けしたいと思っております。

＜職業奉仕＞

1. 1月の職業奉仕月間に実施する施設優良職員表彰は、コロナにより例会での表彰式は取り止めました。既に、坪井会長と小林(聡)副幹事、職業奉仕担当の浦野幸子会員が、6施設の玄関先で被表彰者に賞状と記念品をお渡しして参りました。その時の様子を写真に納め、代表謝辞は広済会の職員さんをお願いし、書面で提出して頂きました。

2. コロナにより、今年度、職場訪問は取り止めました。その代わりに、当初の計画では「広い視野を持つ為に、普段知り得ない職場の関係者から卓話を聞く」事を予定しておりましたが、現状では、例会開催も予測困難な為、白紙状態です。

＜国際奉仕・友情交換＞

1. 3月28日に予定されていた友好クラブ・栃尾RCの創立50周年は、昨年末、コロナの感染状況により延期すると文書を頂きました。延期後の日程は改めてご連絡頂くことになっております。

2. 姉妹クラブの釜山新西面RC創立30周年には、2月の理事会でお祝品をお贈りする事が決まりましたが、その後、コロナの影響で4月から5月に延期になったと

連絡がありました。

3. 例年4月下旬に開催している桐生4RC合同群馬大学留学生交流会は中止に決まりました。
4. 姉妹クラブのフィリピン・マンダロンRCとのグローバル補助金事業は、障害者に調理士の資格を取得させて就業できる様にするプロジェクトを進行中です。現在コロナにより対面での訓練が出来ない為に、トレーニングを中断している状況です。その為、今年度中の完了は大変困難であると思えます。

＜ローターアクト＞

1. ローターアクト年次大会は中止になりました。
2. 恒例事業となった国際料理会は中止に致します。
3. 2名のアクトが群大を卒業し退会します。歓送会は無しにして、餞をお贈りする事に致しました。

＜インターアクト＞

1. 1月24日(水)に大間々高校創立120周年記念のお祝をお贈りしました。
2. インターアクト台湾研修は中止になりました。
3. 大間々高校 I A C との合同例会は未定です。



公共イメージ委員長
新井 みゆき

今年度コロナ禍の中で、坪井会長から公共イメージ委員会に対して期待することとして、

- ① クラブ会報は個性を反映すること。
- ② 会員の現在の状況を発信すること。
- ③ 世界のロータリアンの今について情報発信すること。

の3点を挙げて頂きました。

月2回の例会開催や2月は全体会などもあり、クラブ会報の発行回数が減り、また恒例事業も中止になる等で、会長の期待に添えたとは思いませんが、限られた状況の中で、ロータリーの公共イメージ向上に、後期も努めて参りたいと思います。

それでは前期の活動内容を時系列で発表致します。

1. 7月1日(水) 桐生市役所、みどり市役所、桐生タイムス社、上毛新聞桐生支局の4ヶ所を、坪井会長・栗原幹事と私の3名で表敬訪問を行いました。
2. 7月17日(金) 桐生タイムス紙に暑中見舞い広告を掲載致しました。
3. 8月20・21日(木金)の午前中、大間々高校模擬面接が行われ、その模様が桐生タイムスと上毛新聞に掲載して頂きました。
4. 大間々高校模擬面接の記事をロータリーの友に投稿し、11月号のロータリー・アット・ワークの中で、写真付きで紹介されました。

これらの他に、ロータリーの友誌を配布した例会で、クラブ会報・雑誌担当の木村会員が友誌の紹介を行っています。また、毎例会では会長報告を動画に収め、HPやLINEの会員グループにアップする等、行っています。

後期の活動計画ですが、既に年賀広告を桐生タイムス紙に掲載しました。2月23日のロータリー創立記念日に開催された地区の「奉仕の理想実践セミナー」の事例集に、当クラブの代表する奉仕活動が23～25頁に掲載されております。

また、今後行う奉仕活動があれば、随時地元紙に取材をお願いしたり、クラブ会報に掲載するなど致します。引き続き、友誌の紹介や動画の配信、クラブ会報をHPやLINEの会員グループにアップする等して、ロータリー

一の帰属意識を高める意味でも、情報発信に努めて参ります。

皆様にも積極的な投稿や情報の提供などご協力をお願い致します。



ロータリー財団・米山奨学・ニコニコBOX(拠金)委員長

池末 晋介

坪井年度では、例年同様の拠金目標を掲げて活動してまいりました。具体的にはニコニコ Box が25,000円、米山 Box は16,000円(内3,000円はクラブより支払い)、ロータリー財団が180\$となっております。

前記はコロナ禍の影響で、予定どおりに例会を開催できませんでしたが、皆様のご協力のおかげで、ニコニコ Box・ロータリー財団については約70%、米山 Box については約80%の達成率となっております。改めて皆様に感謝申し上げます。

但し、前期に関しては、従来通りの年会費を納めた会員については預り金を拠金に振り替えたこともあり、上記のとおりの高い達成率となっておりますが、後期に関してはこれがなく、また、例会の開催も引き続き制限されておりますので、目標達成はまだ厳しいものと考えております。

後期に関しても、皆様にはますますのご協力をお願いするとともに、未達成の会員の方にはお声がけをさせていただきますので、よろしく願いいたします。

最後に、会員の皆様におかれましては、例外なく厳しい状況が続いていると思われる中、拠金に多大なるご協力をいただいております。大変感謝しております。後期においても、委員会一同、目標達成に向けて活動してまいりますので、更なるご協力をお願いいたします。

(株) Achieam

代表取締役 今泉 攻一

桐生市相生町5-2086-3-2F-3

TEL 0277-46-7310

みやま地産(有)

代表取締役 井本 万里子

桐生市相生町2-732-2

TEL 0277-52-1661

3月は“水と衛生月間”です。
3月8～14日の一週間は世界ローターアクト週間です。

《次例会予告》

3月26日(金) 新会員卓話 須田 守君

3月19日(金)は休会です